

子育てサポート企業～医療法人岩国病院～

山口労働局（局長 山口 晃）は、医療法人岩国病院（理事長 庄司 孝）を「子育てサポート企業」として新たに認定しました。次世代法に基づく認定が始まった2007年以降、山口県内で認定を受けたのは10社で、うち5社が医療業です。

くるみんマークの認定とは、行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、必要書類を添えて申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の認定（くるみんマークの認定）を受けることができます。認定を受けた事業主は、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをPRできます。その結果、企業イメージの向上、従業員のモラルアップやそれに伴う生産性の向上、優秀な従業員の採用・定着が期待されます。



認定マーク「くるみん」

… 山口労働局長室で認定通知書交付式を行いました …
（平成25年6月13日）



山口局長から認定通知書を受け取る
兼子事務長



青藍会
阿武理事長

山口局長

岩国病院
兼子事務長

●認定企業の紹介●

医療法人 岩国病院

代表者	理事長 庄司 孝
所在地	岩国市岩国3丁目2-7
労働者数	105人（うち男性18人、女性87人）
計画期間	平成23年4月1日～平成25年3月31日

取組内容

- ・職員が安心して働くことができるよう、院内保育所を建設・運営することを目標とし、平成24年4月1日に岩国病院附属保育所「うりぼうの家」をオープンした。現在3人の子どもを受け入れている。
- ・上記保育所では、病院利用者が分娩や治療のために入院するなどの場合に、臨時で子どもを預かることも実施している。病児保育所も併設している。
- ・月1回、ノー残業デーを実施。事務長から各部署の長に毎月文書を発出し、徹底を呼びかけている。
- ・計画期間中の男性の看護休暇取得者は1名。
- ・計画期間中に出産した女性4名は、全員が育児休業を取得した。

●認定企業にインタビュー

認定申請にあたって困難であった点や認定マークの活用などについて、岩国病院に伺いました。

◎医療法人岩国病院

◇ 認定を受けた感想をお聞かせください。

法人一丸となって取り組んできたことが、評価されたと思います。
大変光栄です。

◇ 認定を受けようと思われたのはどのような理由からですか。

子育てにやさしい法人であることをPRしたかったため。

◇ 認定をうけるためには9つの基準を全て満たす必要がありましたが、そのうち達成が難しかったのはどの基準ですか。

男性職員が少ないので、男性の育児休業取得者がいなかった点です。

◇ 貴法人で取り組まれた次世代育成支援対策のうち、特にアピールしたい点はどのようなことですか。

院内保育所の建設・運営です。家事育児支援センター「うりぼうの家」という名称で、院内保育所、病後児保育所、女子寮、大型多目的会議室を完備した当院自慢の施設です。

◇ 認定を受けると認定マークを広告や商品につけることができますが、貴法人としては認定マークの活用についてどのようにお考えですか。

ホームページ、名刺等へマークを付けたいと思います。

◇ 企業が次世代育成支援対策を進める上で難しいと思われる点や行政に希望する支援策はありますか。

育休中の生活に困らないよう、育児休業給付金の支給比率のアップや、新しい給付金や補助金の導入をお願いしたいと思います。

◇ 次期の行動計画を策定・実施していらっしゃると思いますが、今後の抱負などあれば教えてください。

今年度からは、育児休業をしている労働者への情報提供を行う等の計画をしています。職員が子育てと仕事を両立しやすい職場作りに尽力していきたいと思えます。

◇ これから認定を目指す他の企業へのアドバイスなどがあればお願いします。

子育てしやすい職場環境の整備は企業にとって重要課題の1つであると思えます。多くの企業がその重要性に鑑み、認定に向けて努力をしていただけたらと思えます。

計画期間が長いので、息切れしないよう無理のない計画を立案されることをお勧めします。